

オプトアウト文書	単機関研究用
臨床研究管理番号	2-026041-00

作成日： 2026 年 4 月 26 日 (第 1 版)

手稲溪仁会病院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

1. 研究課題名

大腿骨近位部骨折術後 14 日目自立歩行獲得に関連する因子の検討
—術後 7 日目荷重量に着目して—

2. 研究の目的

大腿骨近位部骨折術後 14 日目時点で自立歩行到達に関与する因子を検討し、7 日目に測定する荷重率が関与している可能性を明らかにする。自立歩行能力に到達するための 7 日目荷重率の基準値を明らかにし、術後早期の歩行能力の予後予測を術後自宅に退院することが可能か判断できることを目的とする。

3. 対象となる方

当院において 2025 年 10 月～2026 年 3 月までの期間に大腿骨近位部骨折を受傷し当院で手術施行した後、術後にリハビリを行った方。かつ、術後 7 日目(±2 日)、術後 14 日目(±2 日)に下肢荷重検査が行われていた方。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- 1) 患者要因 (性別、年齢、BMI、認知症の有無、受傷前歩行状態)
- 2) 手術要因 (骨折型、手術方法)

【理学療法評価】

1) 荷重率

術後 7 日目(±2 日)と術後 14 日目(±2 日)に測定された数値を利用します。

体重計にて 3 秒以上立位姿勢を保てる最大荷重量を測定し体重で除した値として計算します。

2) 荷重率変化量

術後 14 日目荷重率から術後 7 日目荷重率を差し引いた値として算出します。

3) 術後 14 日目自立歩行可否

歩行自立は歩行補助具の使用問わず病棟内生活で歩行自立されている状態とします。

5. 試料・情報の利用方法

上記項目を、手稲溪仁会病院リハビリテーション部に集約して解析を行います。いずれも、診療の中で得られたものであり、この研究のために患者さんに新たな検査を行ったり、経済的負担をかけたりすることはありません。

6. 研究期間

実施許可日～2026 年 5 月 31 日

7. 個人情報の取り扱い

オプトアウト文書	単機関研究用
臨床研究管理番号	2-026041-00

本研究で利用する情報等からは、直接ご本人を特定できる個人情報とは削除した上で、学会や雑誌等で研究成果が発表されます。取り扱う情報等は、研究責任者が責任を持って厳密に管理します。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
手稲溪仁会病院 リハビリテーション部 赤崎柗馬
〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40
TEL：011-681-8111（代表）

研究責任者：手稲溪仁会病院 リハビリテーション部 赤崎柗馬